

水道週間は、水道についてみなさんに関心を持っていただくため、厚生労働省の呼びかけにより、毎年実施しているものです。

水道部では、えべつ環境広場 2016 (6月18・19日) に出席し、江別の水道・下水道について紹介します。なかでも、3種類の水を飲み比べる「きき水体験」は毎年好評です。ぜひご来場ください。

詳細
水道部総務課
☎ 385-1213

安全な水道水 炭をつかったおいしい水づくり

江別の水道水は、上江別浄水場と恵庭市にある漁川浄水場でつくられています。上江別浄水場では、まず原料となる川の水を千歳川から

取水し、ポンプで浄水場へ送ります。

この川の水には、濁りや色、においなどがついているため、最初に粉末状の活性炭

を入れ不純物(有機物)を吸着させます。

その後、炭と汚れを大きな塊にする薬品を入れて取り除きます。取りきれなかった小さな汚れは砂によつてろ過し、最後に塩素で消毒して水道水になります。

活性炭って？

活性炭は、炭を約900度の水蒸気により加熱し、非常に小さな穴が開くようにつく

られています。一般の炭と比較して表面積が大きいので、水をきれいにする力が非常に強いという特徴があり、安全でおいしい水をつくるために欠かせないものです。

炭のリサイクル

浄水場では、水道水をつくる過程で炭を含んだ大量の泥が発生します。この泥は水分が多く、処理する場合は一般的に多額の費用がかかりますが、江別市では、処理費用の節減と環境に配慮し、融雪剤の原料としてリサイクルしています。

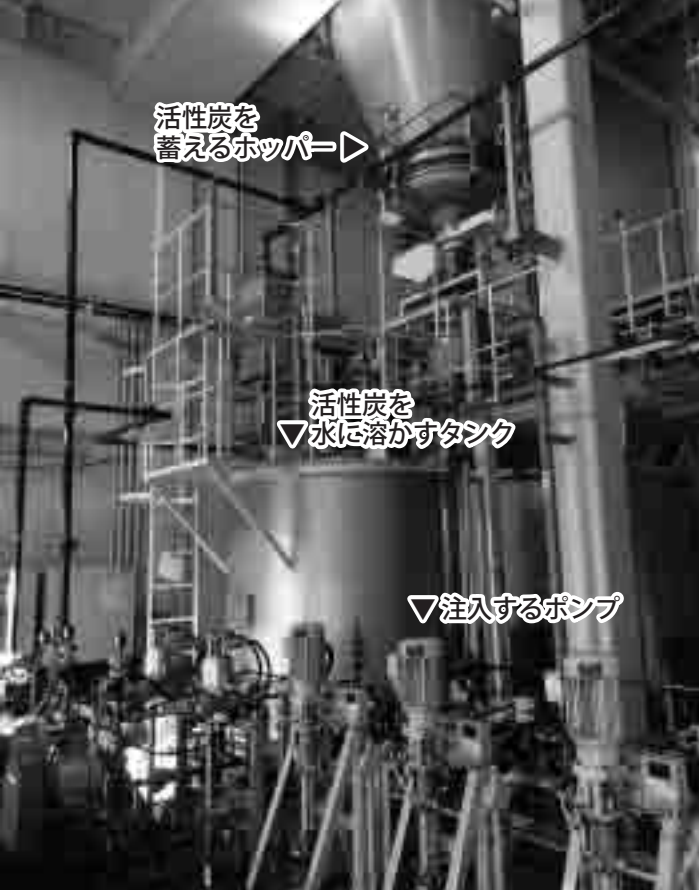
リサイクル方法は、まず発生した泥を池(天日乾燥床)に入れ、太陽や風といった自然エネルギーを利用して約半年間自然乾燥させます。その後、機械により加熱して粒状に加工し、融雪剤にします。

江別市は、上下水道ともに処理過程で発生した泥を全量リサイクルしている、北海道の中でも数少ない都市の一つです。今後も環境に配慮し、効率的な事業運営に取り組んでいきます。

浄水場の見学

上江別浄水場は見学することができ、授業の一環として毎年市内の小学生600人ほどが訪れます。

子どもたちは普段見ることのできない施設を見学し、水づくりの話を聞いて、水の大切さを学んでいます。



活性炭を蓄えるホッパー

活性炭を水に溶かすタンク

注入するポンプ

粉末活性炭注入装置



活性炭への有機物の吸着イメージ (東京都水道局 HP より引用)



泥を加工した融雪剤



浄水過程を見学する小学生

5人以上の団体で見学できますので、ご希望の方は事前にご相談ください。

☎ 382-2756
詳細 浄水場浄水係

緊急時の給水体制を強化 資器材などの充実を図る

平成26年9月の断水災害時の課題点を踏まえ、災害などによる緊急時の給水体制を見直し、資器材、設備などの充実を図っています。**〔詳細〕** 水道整備課給排水・維持管理担当 ☎ 383・2439

市内5か所の緊急貯水槽

緊急貯水槽は、地震などの災害による断水時に水道水を確保し供給するための施設で、市内5か所の公園などに設置されています。

通常時の貯水槽は配水管と接続され新鮮な水が流れていますが、地震などの災害によって配水管の圧力が低下すると、貯水槽と配水管をつなぐ遮断弁が自動的に作動して両者を分離し、非常用の水道水を確保します。



若草公園で行われた説明会

電動ポンプの配備などにより、設備の充実を図りました。毎年、近隣の方を対象に使用法などについての説明会を開催しています。昨年は8月に若草公園で実施し、実際に給水作業体験を行いました。

今年度はとちのき公園で開催します。日程は決まり次第自治会回覧でお知らせしますので、お近くにお住まいの方はぜひご参加ください。

設置場所

江別太小学校（朝日町25）、飛鳥山公園（緑町西2・11）、若草公園（野幌町6）、とちのき公園（野幌若葉町32）、大麻東公園（大麻東町35）

新たに3トン加圧給水車を導入

これまで保有していた1.8トン車に加え、新たに3トン



3トン加圧給水車

性能：タンク容量 3,000ℓ、ポンプ能力 320ℓ/分、ポンプ揚程 25m（ポンプが水を汲み上げられる高さ）。

水道メータの地上化

いつでも
 水量を
 確認できます

メータ表示器



地下に設置する本体

水道メータは8年ごとに取り替えを行っています。平成27年度からはその際、電子式メータを設置しています。

メータの表示器を住宅の壁など、冬でも安全に見える位置に設置することで、いつでも使用水量を確認でき、漏水も早く発見できるため、節水につながります。また、冬期の検針も可能になります。表示器に示される内容の詳細については、取り替え後にお渡しするチラシをご覧ください。

設置にあたっては、水道部が委託した江別管工事業協同組合が事前に伺い、打ち合わせをした後に作業を行います。打ち合わせや取り替えを行う者は、写真付きネームプレートとベストを着用し、水道部発行の証明書を持参しています。ご協力をお願いします。

なお、取り替え費用は無料です。**〔詳細〕** 水道整備課給排水・維持管理担当 ☎ 385-4989

加圧給水車を購入しました。この給水車は加圧ポンプが装備され、水を送ることができ、ため、病院や高齢者施設にある受水槽へ給水を行うことができます。

今年度は文京台・豊幌地区

きれいな水道水を使ってもらうため、計画的に水道管の洗管作業を行っています。赤水やにごり水の主な発生原因である水道管の水あかを

取り除くため、水道管内に大量の水道水を一気に流し、管内部に付着している水あかを洗い流す作業です。この作業は、市内を8つの

平成28年度洗管作業



区域に分けて8年周期で実施しています。

○平成28年度の対象地区

文京台、文京台東町、文京台南町、文京台緑町の一部、豊幌、豊幌花園町、豊幌美咲町、豊幌はみんぐ町

○作業期間と時間

6月中旬～7月下旬の午後11時～翌朝5時30分

なお、詳細は各家庭に配布するチラシのほか、当日は広報車でもお知らせします。

また、作業中は一時的に断水・水圧低下・にごり水などが発生することもあります。

対象地区の方は、あらかじめ必要な飲み水などのくみ置きをお願いします。

〔詳細〕 水道整備課給排水・維持管理担当 ☎ 383・2439